

教員・保育士に就いている卒業生と在学生の交流会

2月3日（土）に、今年度の「卒業生と在学生との交流会」が行われました。教職センター設立以来、毎年行っている取り組みです。相模女子大学を卒業し、保育や教育の現場で働いている先輩達をお招きして、仕事の内容ややりがい、大学生へのメッセージなどを話していただく会です。18名もの先輩達に来ていただきました。

全体会で話された卒業生の代表は、保育園、小学校、高等学校、学校栄養職（栄養教諭）で、それぞれの話からは職場で経験を積み重ね、立派な保育士、教諭として活躍していることが伝わってきました。

会の後半では、職種ごとに4つのグループに分かれ、在校生と膝を合わせての座談会を行いました。全体会で話した代表者以外の先輩達からの話だけでなく、在校生の質問に答えている場面も多く、どの会も和気藹々とした雰囲気で盛り上がりました。その後は、食堂で先輩達と職員でお昼を食べながらの歓談が行われ、旧交を温めました。

座談会の様子



昼食の様子



全体会での発表



全体会の様子

参加者の感想

- 実際に働かれている先輩の話聞いたのはもちろん、他職種のお話も聞くことができ、知らないことも知ることができて良かったです。リアルな話が多く聞けて、とても参考になりました。
- 現場での嬉しいこと、苦戦していること等のやりがいを知ることができて、保育の現場をイメージすることができました。また、それぞれの子どもへの工夫や保育者間での連携が素敵だと思いました。
- 今回、様々なお話を聞き、保育者のやりがいはもちろん、公立園の良さも現場のリアルな話を聞けて、とても良かったです。自分の今後の試験に活かしていきたいです。